

2020年3月期決算 投資家向け説明会

2020年5月20日

ソフトバンクグループ株式会社

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、いかなる法域においても、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデル及び戦略の成功、当社グループの事業に影響を与える金融市場及び外国為替の世界的な政治的及び経済的傾向及び変動、当社グループの経営陣の主要メンバーに関する不測の事態、子会社、関連会社及び合併会社に対する当社グループの投資に帰因するリスク、技術及びビジネスモデルの変化に対応する当社グループの能力、競争及び競争的要因、受容可能な条件で十分な資金を保証する当社グループの能力、ソフトバンク・ビジョン・ファンド・エル・ピー及びエスピー・デルタ・ファンド（ジャージー）エル・ピーを含むSBファンド（以下に定義されます。）並びにこれらに対する当社グループの投資及びその資産の譲渡に影響を与える要因、当社グループの通信事業（通信ネットワーク容量、他社の管理及び資産への依存並びに電磁波に伴う健康リスクに関する規制の影響を含みます。）に関するリスク、再生可能エネルギー事業に関するリスク、法律、規制及び法制度並びにそれらの違反に起因する行政処分その他命令の変更、会計制度及び税制の変更、当社グループの事業及び投資のグローバル性に起因するカントリーリスク、知的財産に関する問題、情報漏洩及びセキュリティ、人的ミスその他要因によるサービスの停止又は質の低下、自然災害、事故その他予測不可能な事由、米国その他の地域における国家安全保障政策、訴訟、スプリントとTモバイルの合併案に関する問題、並びにその他の要因を含みこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、功績又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、功績又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、功績又は財務状況に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであると保証するものではなく、実績、業績又は功績は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、その推定を示すものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引を決定する際に依存してはなりません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在に、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引法（以下「証券取引法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引法ルール12g3-2(b)に従って証券取引法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に記載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を負うものではないことを表明します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供のみを目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はソフトバンクグループ株式会社の子会社（以下「SBファンド運用会社」といい、SBインベストメント・アドバイザー（UK）エル・ティー・ディー及びその関連会社を含みます。）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」といい、ソフトバンク・ビジョン・ファンド・エル・ピーを含みます。）のリミテッド・パートナーシップ持分若しくは同等の有限責任持分の売却の申込み若しくは購入の申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依存してはなりません。

疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、SBファンド運用会社により運用される従前のファンドであり、投資家に対して販売されていません。SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮すべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する言及は、それに含まれる範囲で、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明するためだけに述べられたものであり、いずれか特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドの各投資の投資パフォーマンスは異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びバンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はソフトバンクグループ株式会社が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

本資料における為替換算レート

期中平均レート	FY18/Q1	FY18/Q2	FY18/Q3	FY18/Q4	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4
1米ドル	108.71	111.55	112.83	110.46	110.00	107.70	108.98	109.22
1英ポンド	147.54	145.84	144.48	143.99	140.88	132.73	139.55	140.20
1人民元	16.97	16.40	16.31	16.37	16.13	15.37	15.46	15.56
期末レート	2018/6月末	2018/9月末	2018/12月末	2019/3月末	2019/6月末	2019/9月末	2019/12月末	2020/3月末
1米ドル				110.99				108.83
1英ポンド				144.98				133.32
1人民元				16.47				15.31

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SVF or ソフトバンク・ビジョン・ファンド	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
WeWork	The We Company

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK、スプリント、アーム、SVF、ブライスター、PayPay、フォートレス、SBIナジー等です

世界企業による大型資金確保 (融資枠設定・社債調達等)

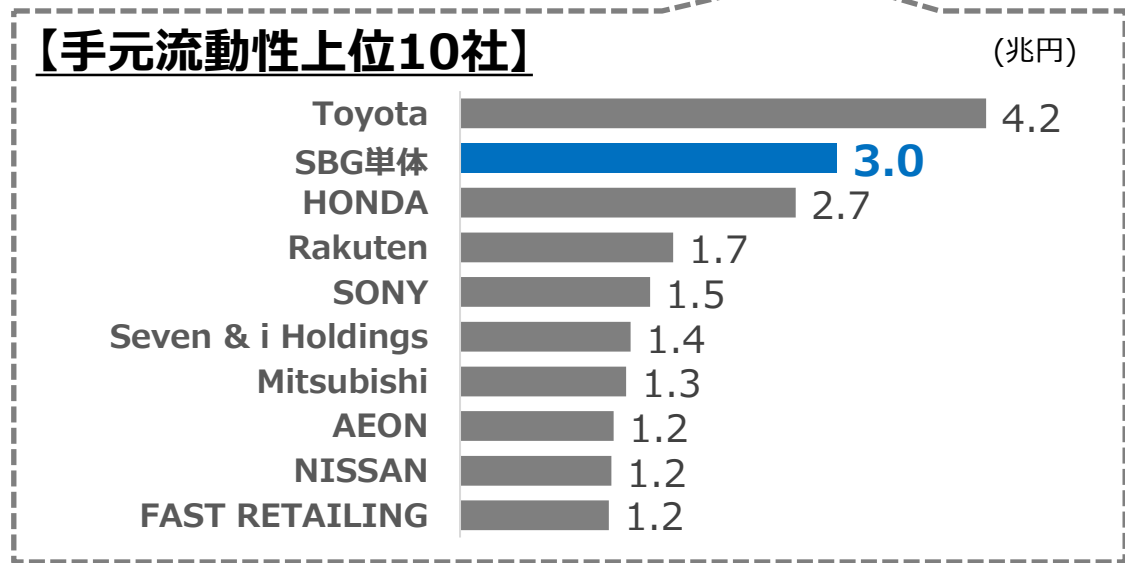
Boeing*	\$25bn
BP*	\$17bn
Coca-Cola*	\$6.5bn
Delta Air Lines*	\$5.6bn
Toyota	1兆2,500億円
ANA	9,500億円
Bridgestone*	3,000億円
Ricoh	2,970億円
Japan Airlines(JAL)*	1,043億円

権利上の都合により
ご覧いただけません

*社債調達を含む。出所：各社発表、開示資料

保有株式価値※1	28.5兆円
LTV※1	14.2%
手元流動性※2	3.0兆円

極めて安全



※1 2020年5月18日時点

※2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。SBG単体ベース。コミットメントライン未使用枠、SVF1への資産売却手取金およびアリババ株式を活用した資金化手取金を含む。2020年4月の自己株式取得金額を控除

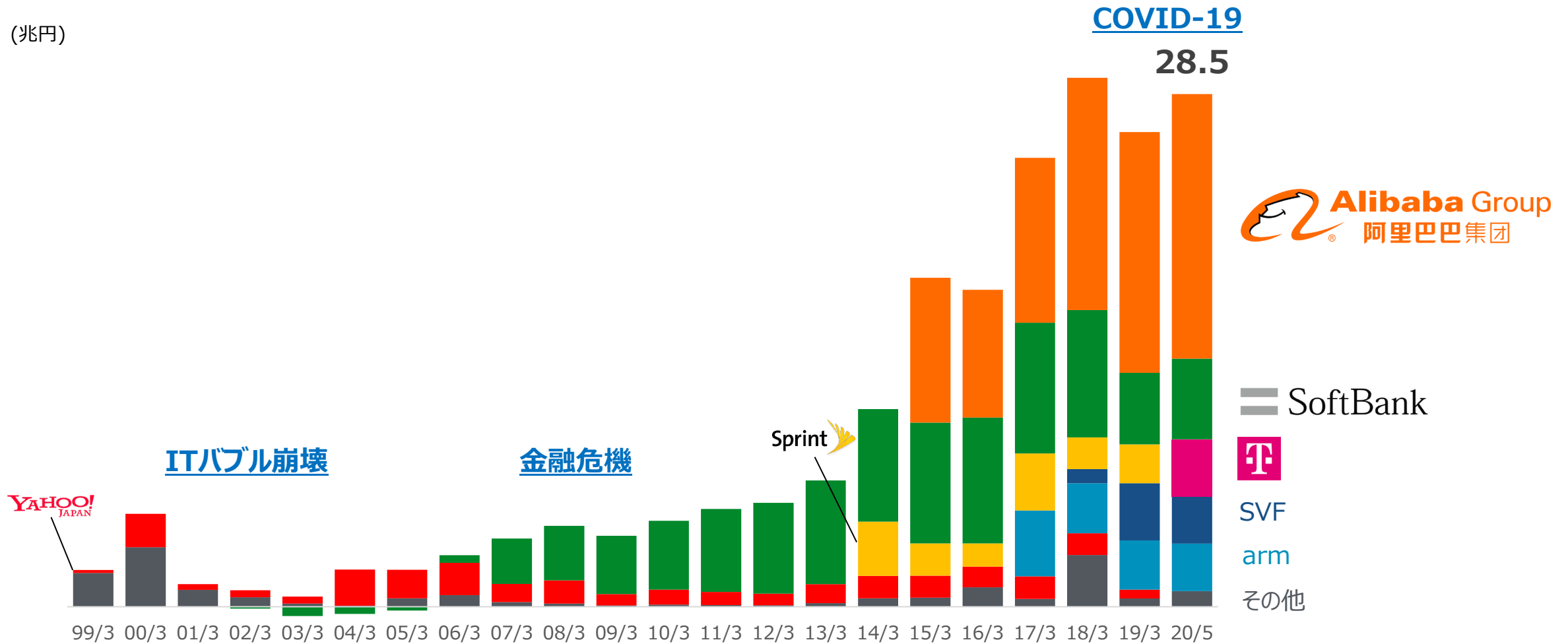
※3 手元流動性上位10社の他社数値は現金及び現金同等物を記載、出所：Bloomberg



= 戰略的投資持株会社

過去の危機時にはなかった圧倒的な規模の保有資産

(兆円)



※ 株価および為替レートは、各月末時点。2020年5月の数値は2020年5月18日時点、米国市場は2020年5月15日時点

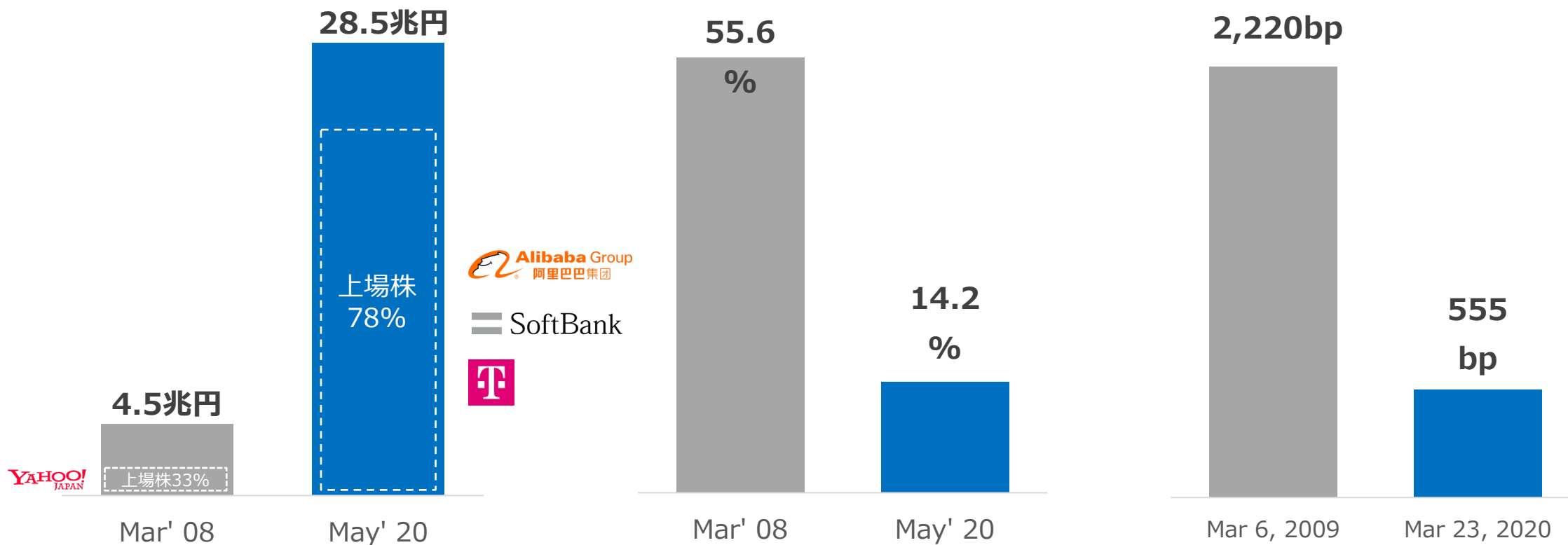
- アリババ、Tモバイル、スプリントおよびヤフー：SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出
- SBKK：SBGの各社保有株式数に各社の株価を乗じて算出。上場前価値はEV/EBITDA=6xを前提に算出
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
- その他：主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

危機への対応能力は大幅に向上

保有株式価値※2

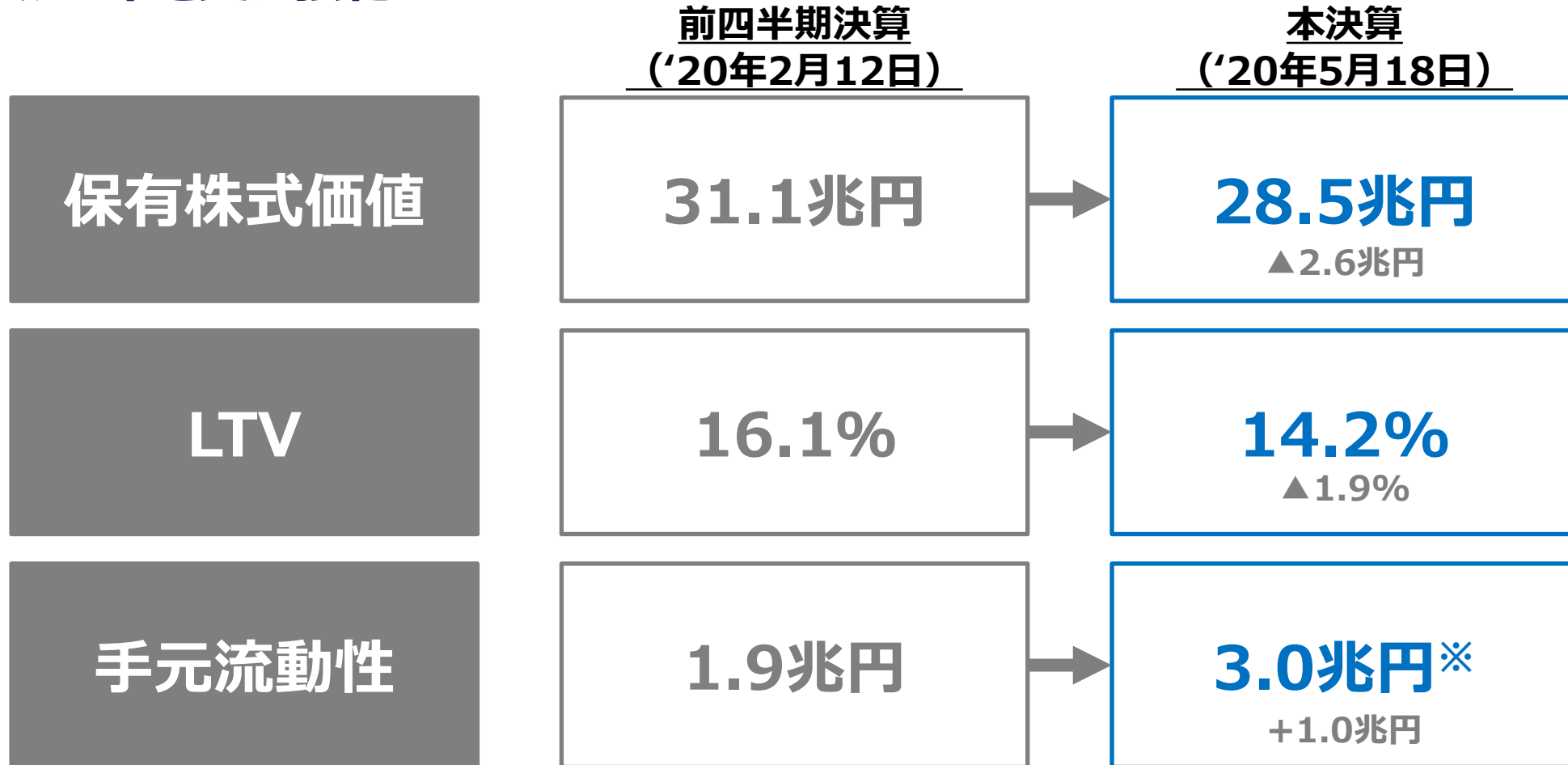
LTV※3

SBG CDS※4 (最高値)



※1 2008年:2008年3月末時点、2020年:2020年5月18日時点
 ※2 2008年の保有株式価値はSBKKを含む (EV/EBITDA=6xを前提に算出)
 ※3 2008年は連結ベース、2020年はSBG単体ベース
 ※4 5年円建てCDS

バランスシートを更に強化



※手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。SBG単体ベース。コミットメントライン未使用枠、SVF1への資産売却手取金およびアリババ株式を活用した資金化手取金を含む。2020年4月の自己株式取得金額を控除

急激に市場環境が変化するなか、財務運営を大きく転換

✓ マクロ環境の不確実性の高まり

✓ 投資家心理の悪化

株価 一時 **53%**下落※1

CDS 一時 **368bp**上昇※2

✓ 財務方針の堅持

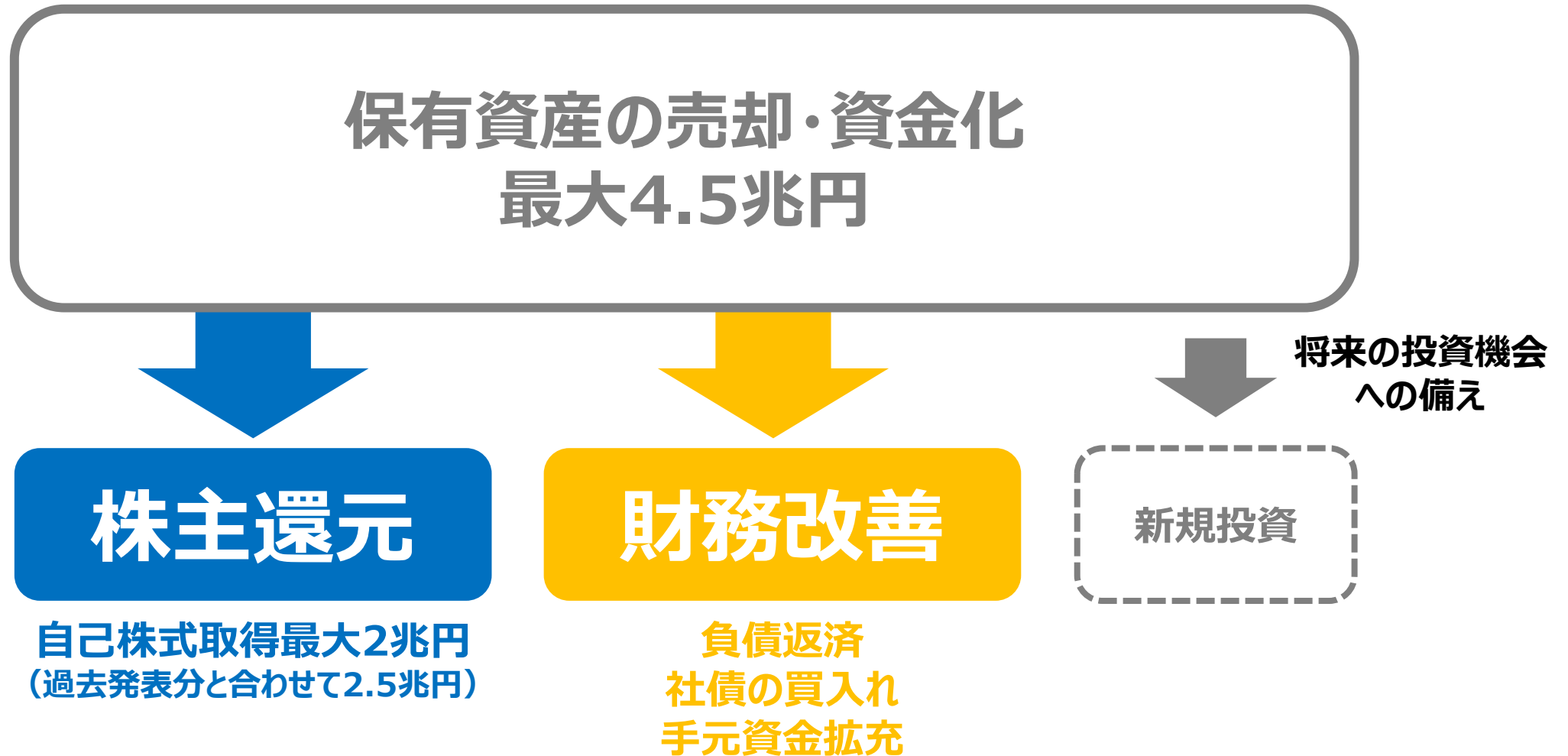
✓ 株主還元と財務改善の充実

✓ 将来の成長機会への備え

※1 SBG株価の2020年における最高値から最安値までの下落率

※2 SBGの5年CDSの2020年における最低値から最高値までの上昇幅

資産資金化により、株主および債権者へ大規模還元



保有資産の資金化と株主還元を実施

アリババ株式の先渡取引による資金化（4-5月）

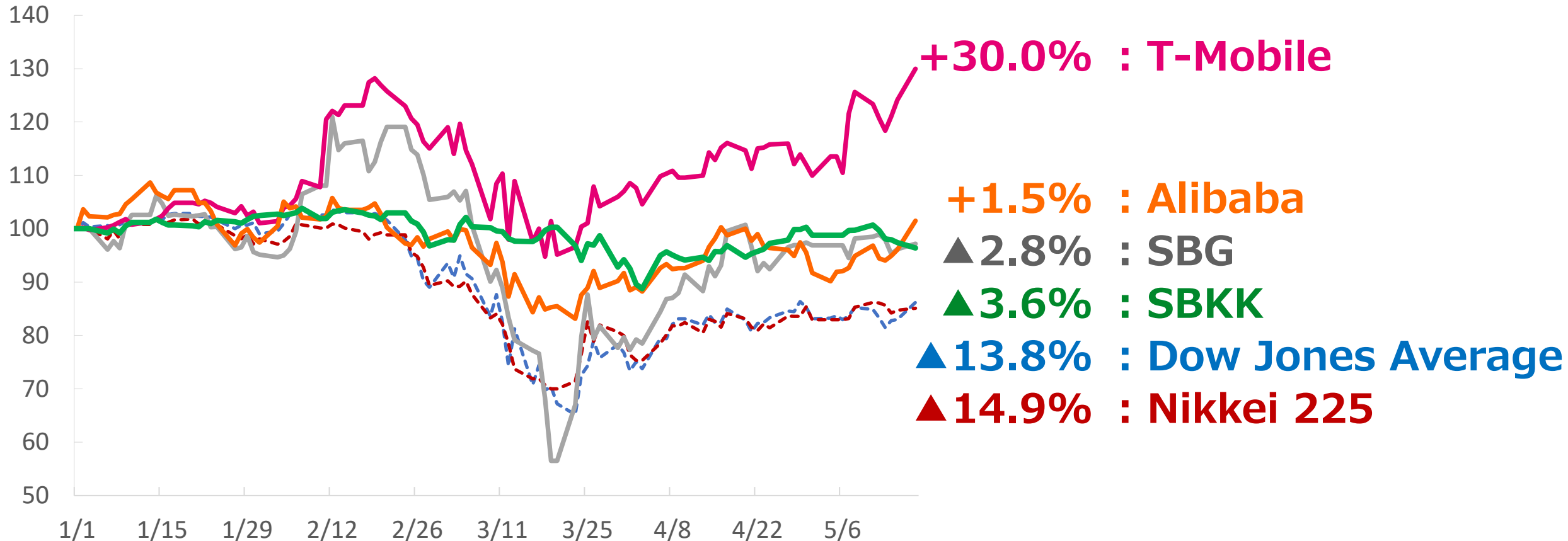
カラー契約	\$8.5bn
フロア契約	\$1.5bn
先渡契約	\$1.5bn
合計調達金額	\$11.5bn

自己株取得

取得総額	2,506億円
取得期間	20年3月16日～20年4月30日

コロナ禍でも保有株式はインデックス対比で高いパフォーマンス

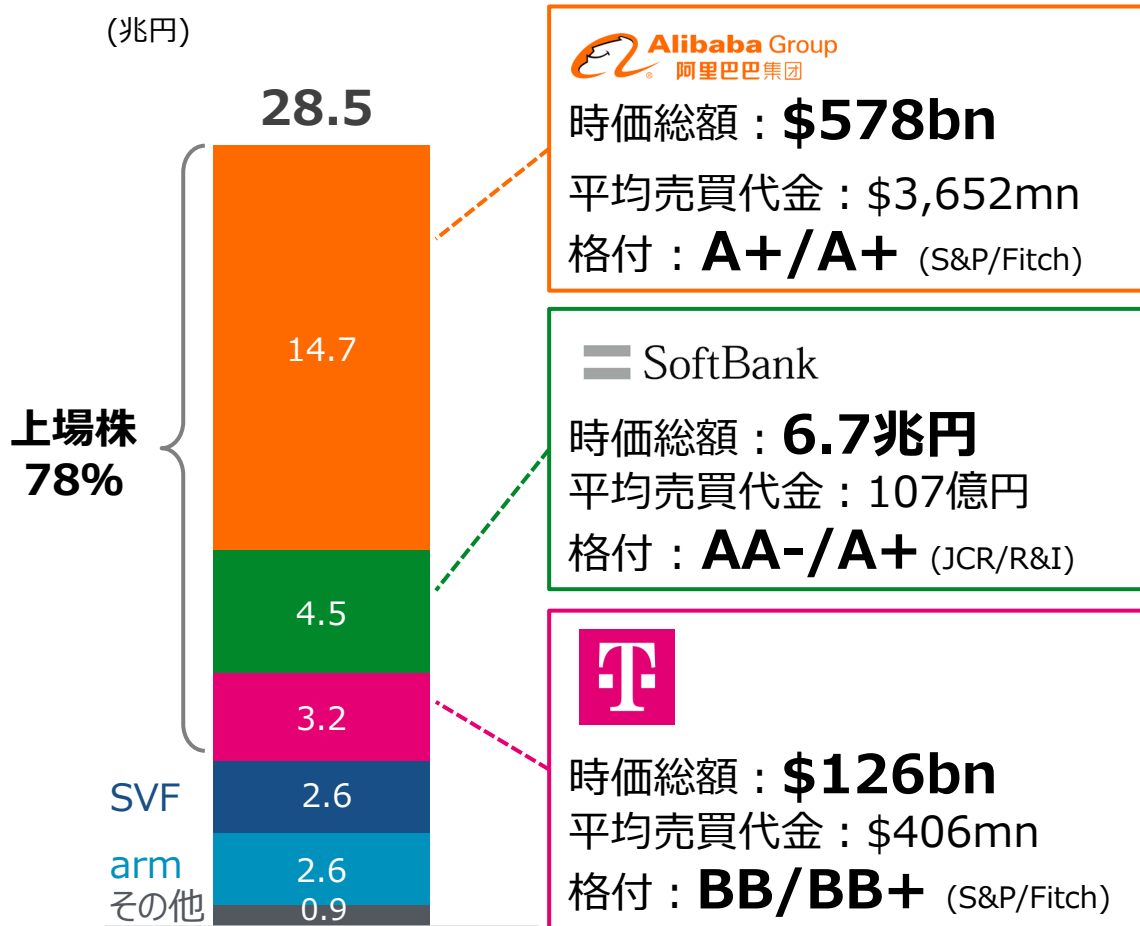
株価推移（年初来）



※ 2020年5月18日時点。2019年12月末時点の終値を100として指数化

投資先ポートフォリオは質の高い資産で構成

(兆円)



- ✓ 高い流動性・信用力
- ✓ 通信インフラ・Eコマースを中心とした安定したビジネスモデル
- ✓ 業界内でも高い競争力

保有株式価値

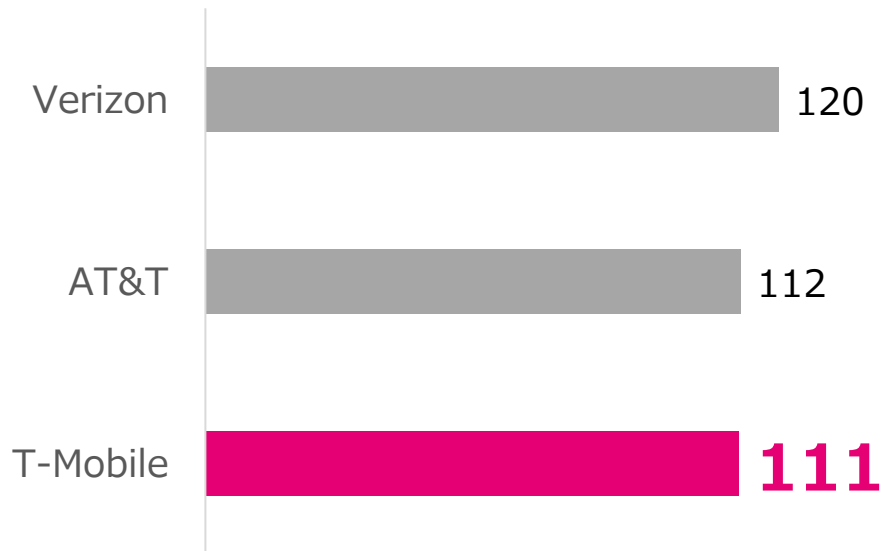
※ 保有株式価値、時価総額および平均売買代金（3ヶ月平均日次売買代金）は2020年5月18日時点

2020年4月1日に合併が完了し、持分法適用関連会社へ

米国の通信会社上位2社に 迫るビッグ3の一角へ

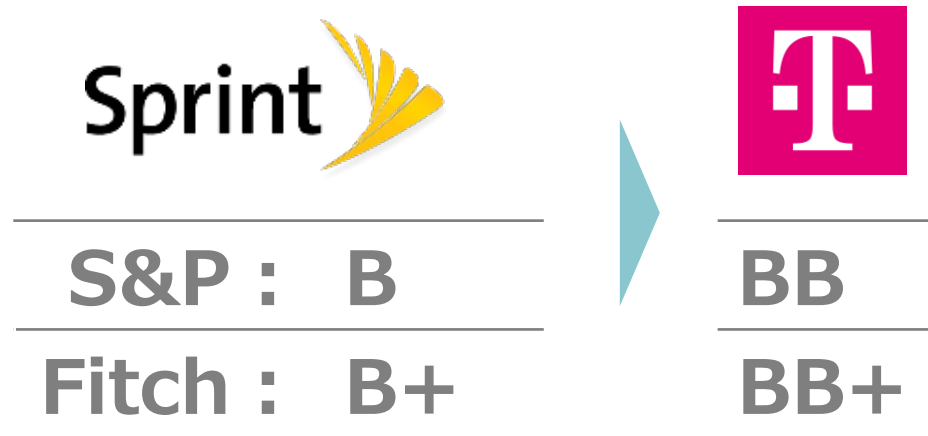
【契約件数】

(百万件)



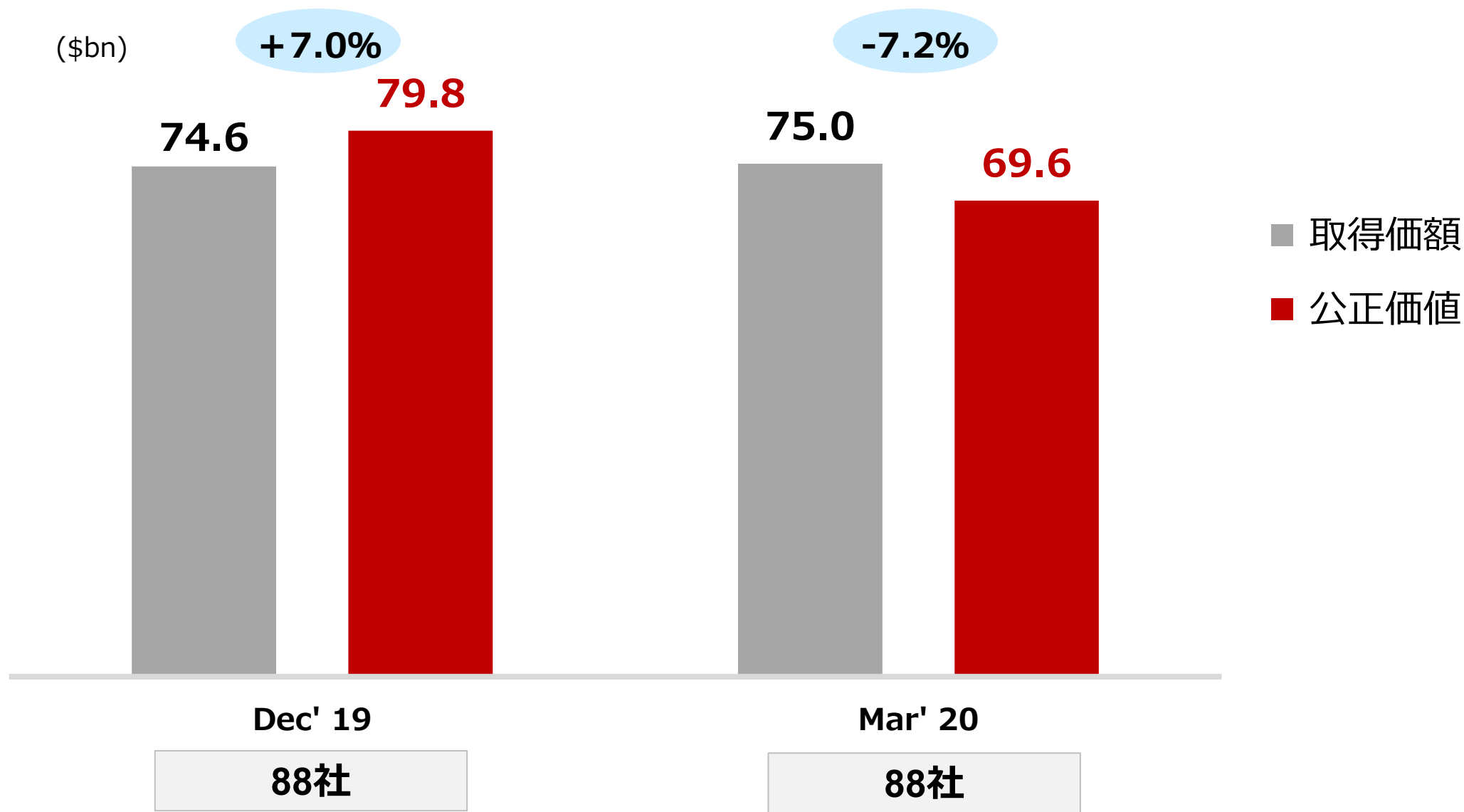
合併により 財務安定性を強化

【格付】



※1 契約件数は2020年3月末時点。AT & T : PostpaidとPrepaid Subscribers and Connectionsの合計 (Latin America含む)。Verizon : PostpaidとPrepaidのWireless Connectionsの合計。T-Mobile : IOT-MobileのTotal Branded Customers及びSprintのPostpaidとPrepaidのwireless connectionsの合計。出所 : 各社開示資料、Bloomberg

SVF1 : 投資資産の公正価値 (SBG連結)



※ 売却済みの投資を除く

SVF1 : 上場銘柄 (2020年5月15日時点)

(\$ mil)	(a)	(b)	(c) = (b) - (a)	(d) = (b) / (a)
会社名	累計投資額	累計リターン※1 (グロス)	累計損益 (グロス)	倍率※2
Guardant Health	308	2,615	+\$2,307	8.5x
Slack	334	1,002	+\$668	3.0x
Vir Biotechnology	199	686	+\$488	3.5x
PingAn Good Doctor	400	820	+\$420	2.0x
10x Genomics	31	297	+\$266	9.6x
OneConnect	100	67	-\$33	0.7x
ZhongAn	550	275	-\$275	0.5x
Uber	7,666	7,216	-\$450	0.9x
上場投資 合計 (グロス)※3	\$9,587	\$12,978	+\$3,390	

1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で換算

※1 累計リターン=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額(ヘッジ影響含む)。売却済の投資先の売却価額は取引手数料考慮後、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

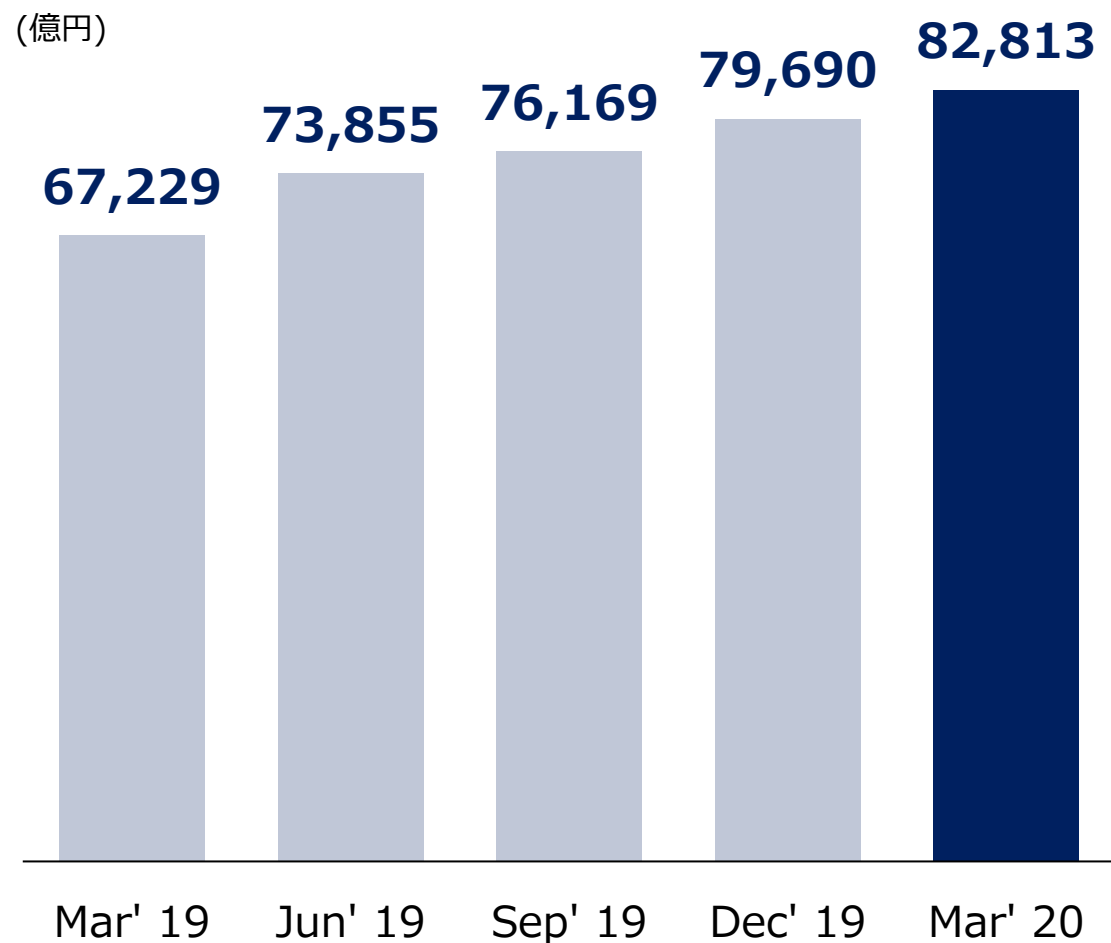
※2 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。累計リターンを累計投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要があるため掲載していない。

※3 上場投資 合計: SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

投資会社としての財務運営に大きく舵切り

財務活動	<ul style="list-style-type: none">● 主な資金調達<ul style="list-style-type: none">- 国内リテール社債・ホールセール社債 発行合計1兆円（2019年4月・9月）- ソフトバンク株式を活用したマージンローン5,000億円（2020年2月）● 4.5兆円プログラムによる株主還元・財務改善発表（2020年3月）
保有資産の状況	<ul style="list-style-type: none">● コロナ禍の市場激変を経ても、保有株式価値は28.5兆円<ul style="list-style-type: none">- SVF事業*：新規投資は完了し、フォローオン投資期へ。上場銘柄は8社 コロナ禍のもと、1.9兆円の未実現評価損失を計上- スプリント：T-Mobileとの合併完了（2020年4月）- SBKK：ZHDの子会社化（2019年6月）やZHDとLINEの経営統合発表を通じ事業基盤は今後さらに強化
財務指標	<ul style="list-style-type: none">● 堅調な保有株式価値に支えられ、財務状況は<u>極めて安全</u> LTV：14.2% 保有株式価値：28.5兆円

将来の社債償還を見据えた前倒し調達を実施



2019年12月末からの主な変動要因

銀行ローン・CPの増減 (-1,562億円)
SBKK株マージンローン (+4,912億円)

2020年3月末 内訳

(億円)

SBG 借入金

銀行ローン	13,044
ハイブリッドローン	831
その他	7
小計	13,882

SBG 社債・CP

国内シニア債	24,511
国内劣後債/ハイブリッド債	13,097
外債	12,736
CP	1,060
小計	51,405

子会社 有利子負債

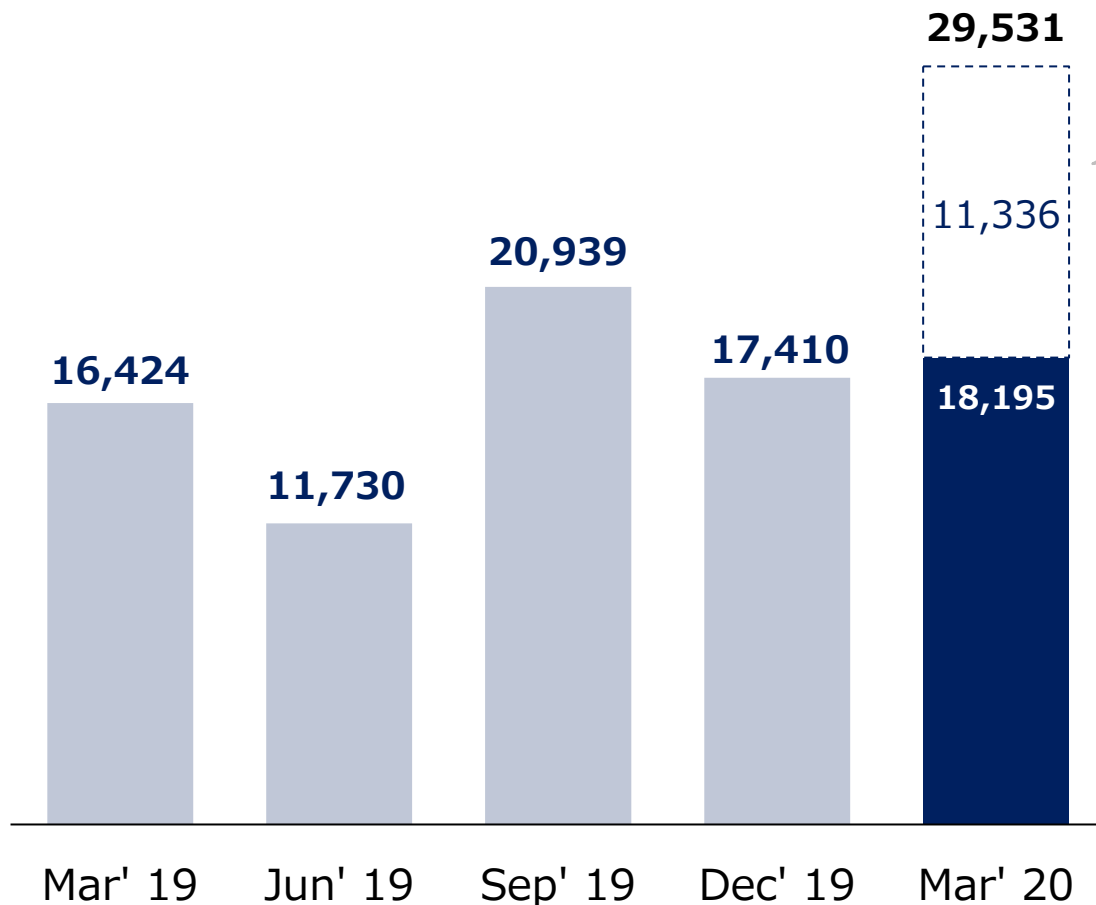
マージンローン (SBGにノンリコース)	15,222
株式先渡契約金融負債	1,961
その他	342
小計	17,525

合計 82,813

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

主にアリババ株式を活用した資金化により大幅増

(億円)

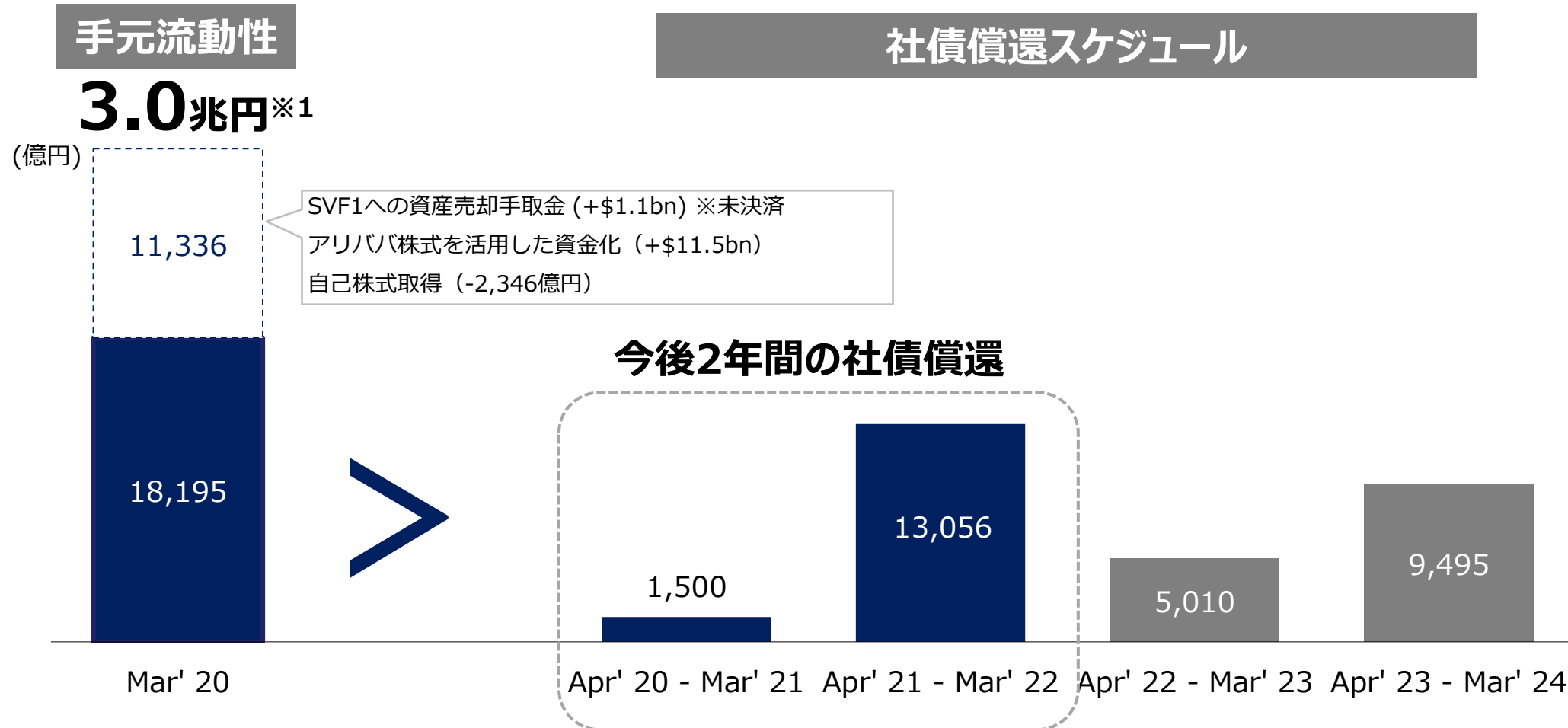


SVF1への資産売却手取金 (+\$1.1bn) ※未決済
 アリババ株式を活用した資金化+\$11.5bn
 自己株式取得金額 (-2,346億円)

2019年12月末からの主な変動要因	
増加	減少
SBKKマージンローン調達 (+4,912億円)	銀行ローン・CPの返済 (ネット) (-1,562億円)
	SVF1キャピタルコール (-\$1.9bn)
	その他投資等 (-1,268億円)

※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。コミットメントライン未使用枠、SVF1への資産売却手取金およびアリババ株式を活用した資金化を含む。2020年4月の自己株式取得金額を控除

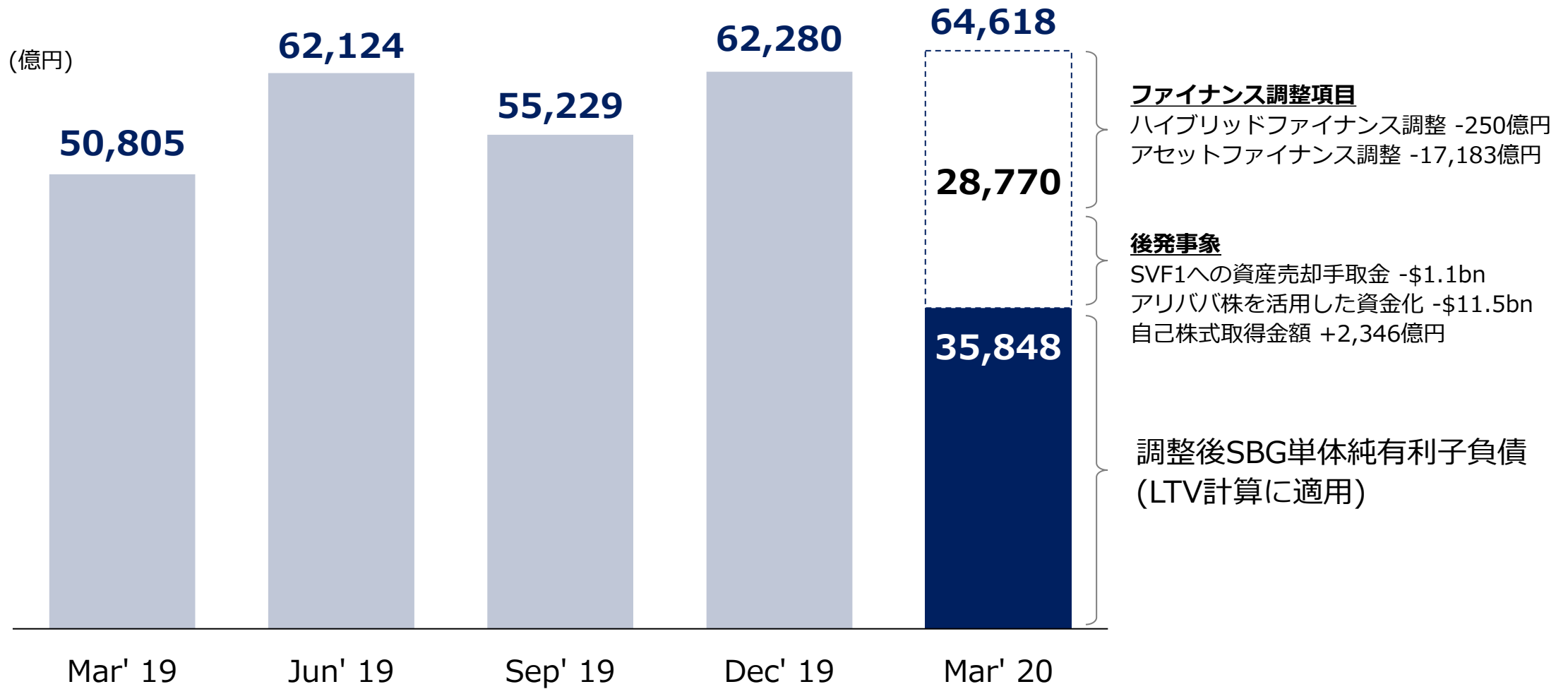
潤沢な手元流動性を維持（今後の社債償還資金4年分に相当）



※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。SBG単体ベース。コミットメントライン未使用枠、SVF1への資産売却手取金およびアリババ株式を活用した資金化を含む。2020年4月の自己株式取得金額を控除
 ※2 2020年3月31日時点のコミットメントラインの未使用枠はゼロ

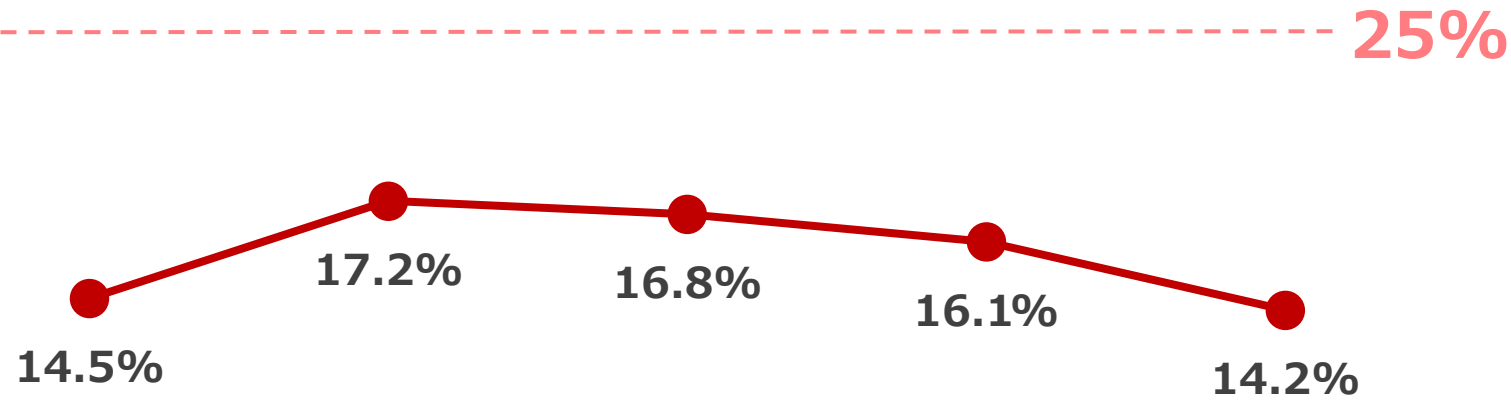
手元流動性の大幅な増加により減少

アセットファイナンス除く
※Mar' 20のみ



※ 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載

アセットファイナンス除く

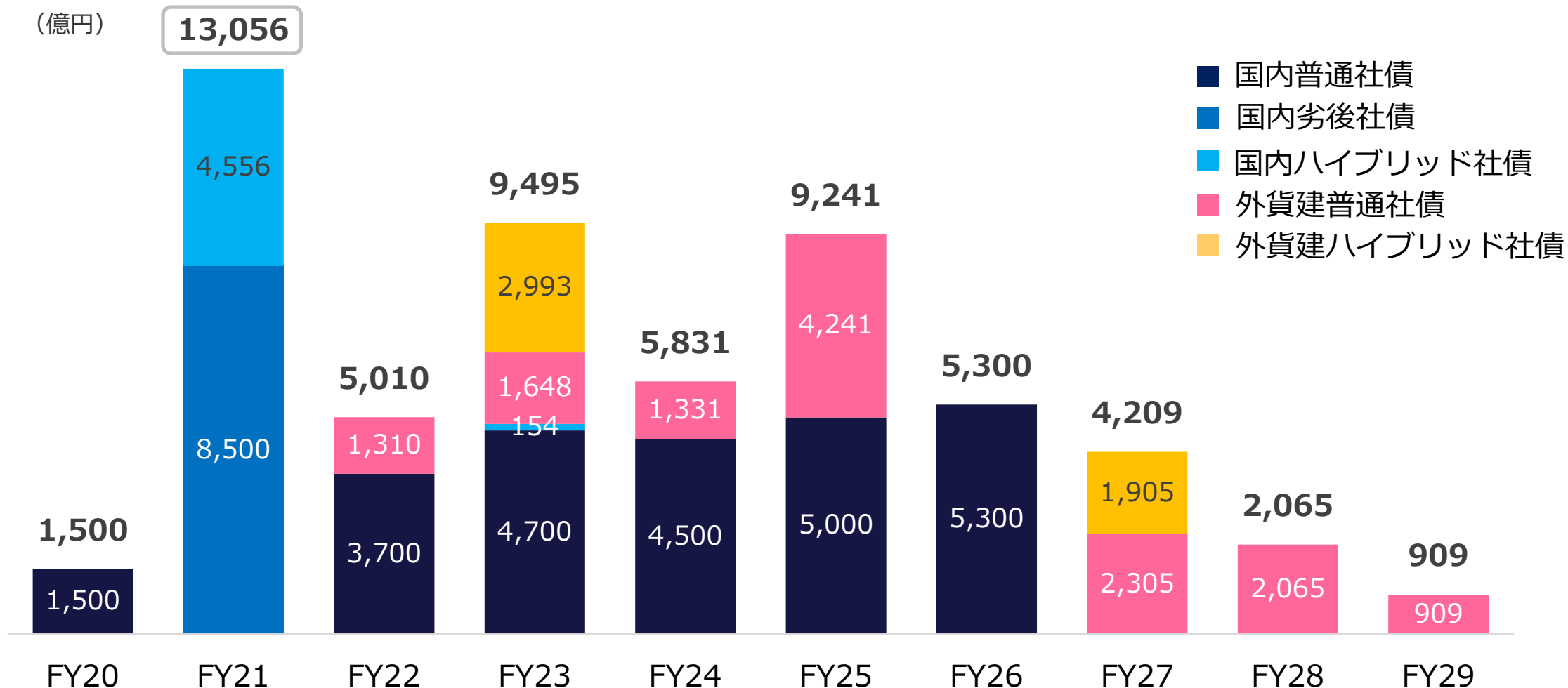


25%未満で運営

May 9, 2019 Aug 7, 2019 Nov 6, 2019 Feb 12, 2020 May 18, 2020

※1 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

リファイナンスを中心に多様な返済オプションを検討



※1 2020年3月末時点発行残高
 ※2 ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
 ※3 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=108.83円にて換算
 ※4 バイバックにより取得した自己保有社債は除く

あらゆる変化に適応できる柔軟な財務運営

財務方針の堅持

市場環境に応じた
機動的な財務運営

1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

投資先の財務は
独立採算

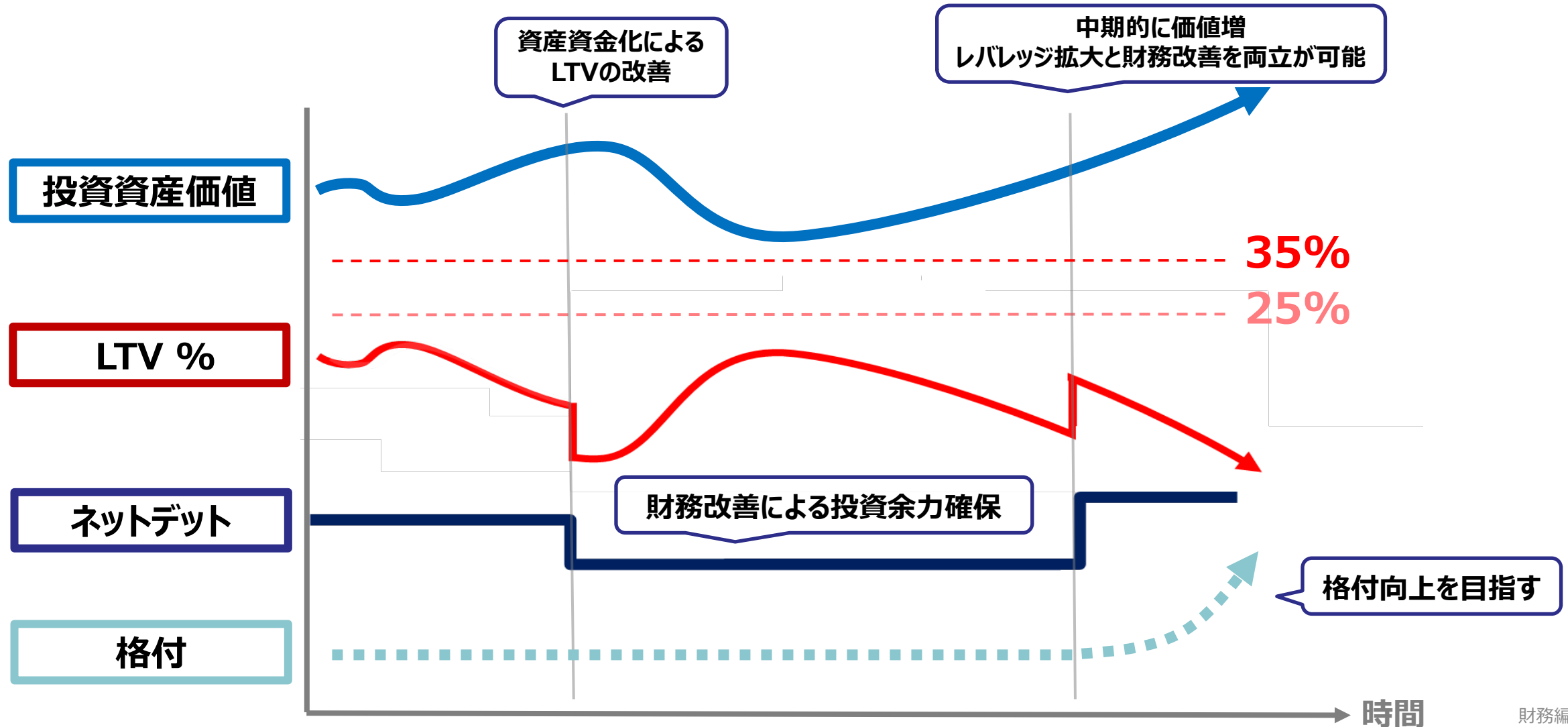
救済投資は
行わない

4.5兆円プログラムの実施による株主還元と財務改善の両立

新規投資と回収のバランスを適切にコントロール
(投資機会の到来に備える)

市場との対話を重視した財務運営

コロナ禍のもと、資産資金化による保守的な財務運営を実施 財務安定性を確保し、今後の投資機会の到来に備える



Appendix

$$\frac{\text{(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債 } 3.58 \text{兆円}}{\text{(V) SBG単体 保有株式価値 } 25.25 \text{兆円}} = 14.2\%$$

(兆円)

調整後SBG単体 純有利子負債	=	連結 純有利子負債	-	独立採算子会社 純有利子負債	-	その他調整
3.58		11.03		4.57		2.88

ソフトバンク事業	+4.26
アーム事業	▲0.09
SVF事業	+0.38
その他	+0.01

ハイブリッドファイナンス調整 ^{※3}	+0.03
アセットファイナンス調整 ^{※4}	+1.72
SVF1への資産売却手取金 ^{※2}	+0.11
アリババ株を活用した資金化 ^{※2}	+1.25
自己株式取得金額 ^{※2}	-0.23

※1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。なお、スプリント事業が非継続事業に分類されたこととともない、スプリント事業の純有利子負債は連結純有利子負債に含まれない

※2 純有利子負債は以下の影響の見込額を考慮

a) 2020年3月末時点で完了済みのSBGからSVF1への資産移管による資金回収及びキャピタルコールの支払い

b) 2020年4月および5月に締結された、アリババ株を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約・フロア契約・カラー契約）の調達金額の合計額（1兆2,546億円）

c) 2020年4月にSBGが取得した自己株式の取得価額の総額（2,346億円）

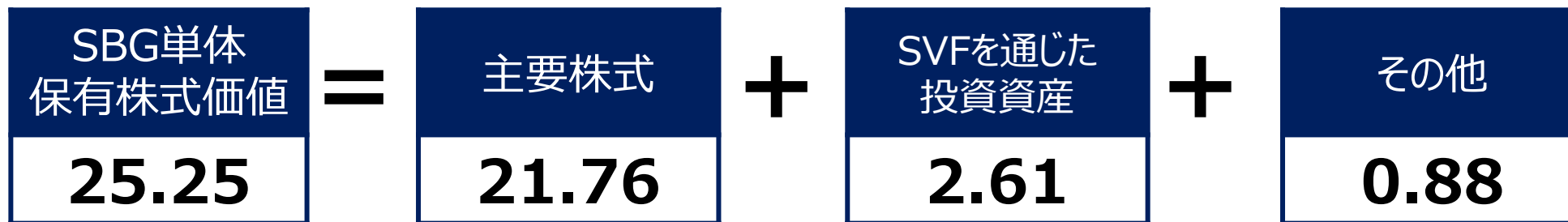
※3 17年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。16年9月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、50%を有利子負債から除外

※4 アリババ株を活用したマージンローン負債残高相当額（1兆249億円）、同社株式を対象としたカラー契約（2019年11月締結済み）の株式先渡契約金融負債（1,961億円）およびSBKK株を活用したマージンローン

負債残高相当額（4,974億円）の合計

$$\frac{(L) \text{ 調整後 SBG単体 純有利子負債 } 3.58 \text{兆円}}{(V) \text{ SBG単体 保有株式価値 } 25.25 \text{兆円}} = 14.2\%$$

(兆円)



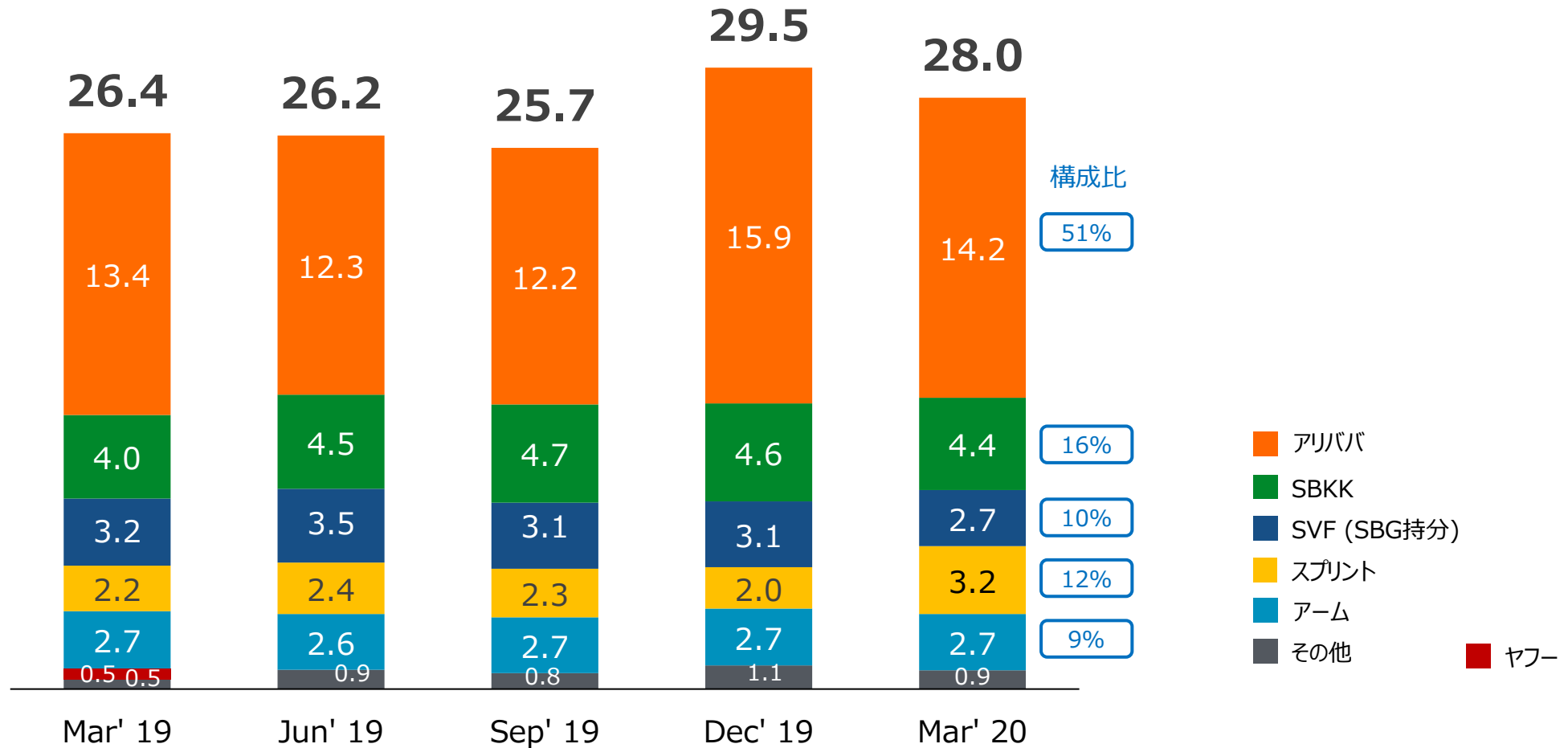
アリババ	14.68	SBKK	4.48	Tモバイル	3.17
既存アセットファイナンス	▲1.22	アセットファイナンス	▲0.50	アーム	2.63
新規アセットファイナンス（先渡売買契約）	▲1.49	SBKK（調整後）	3.98		
アリババ（調整後）	11.97				

※ 上場株価および為替レートは、2020年5月18日時点（米国市場は2020年5月15日時点）

- アリババ：SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出。同社株式を活用したアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除。マージンローンの負債残高相当額(1兆249億円)、カー契約（2019年11月締結済み）の満期決済金額（2020年5月15日の同社株価で算出）(1,979億円)を控除。2020年4月および5月に締結された、同社株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約、フロア契約、カー契約）の満期決済金額（2020年5月15日の同社株価で算出）の合計額（1兆4,877億円）を控除
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。同社株式を活用したマージンローン負債残高相当額(4,974億円)を控除
- Tモバイル：2020年4月1日時点のSBGの保有株式数（スプリントとTモバイルの合併による取引実行後のTモバイルへの引き渡し株式数を除く）に同社株価を乗じて算出
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + ジェネラル・パートナーとして当社が受け取る予定の成功報酬の見込金額等
- その他：主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

前四半期比1.4兆円減少も、前年同期比では1.7兆円増加

(兆円)

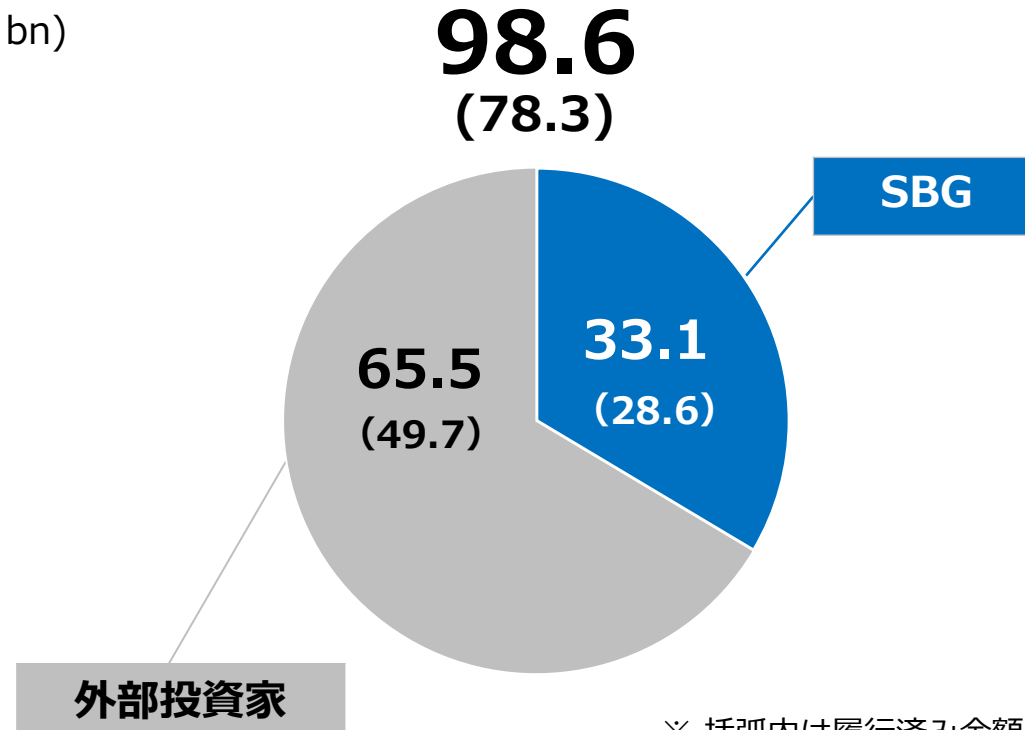


※ 株価および為替レートは、各四半期の東証最終取引日ベース

- アリババ、SBKK、スプリントおよびヤフー：SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + ジェネラル・パートナーとして当社が受け取る予定の成功報酬の見込金額等
- その他：主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

出資コミットメント (2020年3月末)

(\$ bn)



※ 括弧内は履行済み金額

※1 SVF1へのSBGの出資コミットメントは、Arm Limited株式を活用した約82億米ドル相当の支払義務履行分（前期末までに全該当株式を抛済済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される予定の50億米ドルを含む

※2 当第2四半期において、DiDiへの投資についてデルタ・ファンドからSVF1への売却が決済され、デルタ・ファンドは当該売却収入を同ファンドのリミテッド・パートナーに分配し、支払義務履行額の返還を行った。これに伴い、デルタ・ファンドにおける外部投資家の出資コミットメント16億米ドルはSVF1の出資コミットメントとして返上された

SVF1 : 上場銘柄 (2020年3月末時点)

(\$ mil)	(a) 会社名 累計投資額	(b) 累計リターン (グロス)	(c) = (b) - (a) 累計損益 ^{※1} (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 ^{※2}	
	Guardant Health	308	1,975	+\$1,667	6.4x
	Slack	334	939	+\$605	2.8x
	Vir Biotechnology	199	775	+\$576	3.9x
	10x Genomics	31	239	+\$208	7.7x
	PingAn Good Doctor	400	578	+\$178	1.4x
	OneConnect	100	45	-\$55	0.5x
	ZhongAn	550	237	-\$312	0.4x
	Uber	7,666	6,205	-\$1,461	0.8x
(A)	上場投資 合計 (グロス)^{※3}	\$9,587	\$10,993	+\$1,406	
(B)	未上場投資+売却済投資等	\$71,439	\$69,250	-\$2,189	
(A)+(B)	SVF1 合計 (SBG連結目線)	\$81,026	\$80,243	-\$783	

※1 累計リターン=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額(ヘッジ影響含む)。売却済の投資先の売却価額は取引手数料考慮後、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

※2 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。累計リターンを累計投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要があるため掲載していない。

※3 上場投資 合計: SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計
SBG連結目線: NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む

SVF1 : 投資成果 (2020年3月末時点)

(\$ bn)		(a) 累計投資額※2	(b) 累計リターン※1 (グロス)	(c) = (b) - (a) 累計損益 (グロス)
(A)	上場投資 合計	\$9.6	\$11.0	+\$1.4
(B)	未上場投資+売却済投資 合計	\$71.4	\$69.2	-\$2.2
(C)=(A)+(B)	SVF1 合計 (SBG連結目線)	\$81.0	\$80.2	-\$0.8

		(d) 累計支払額	(e) 価値合計
SBG 合計 (ネット)		\$24.4	\$22.5
(内訳)	SVF1の純資産価値におけるSBGの持分		\$20.9
	SBGへ分配済の金額※3		\$1.6
	SBGが受け取る成功報酬※4		-

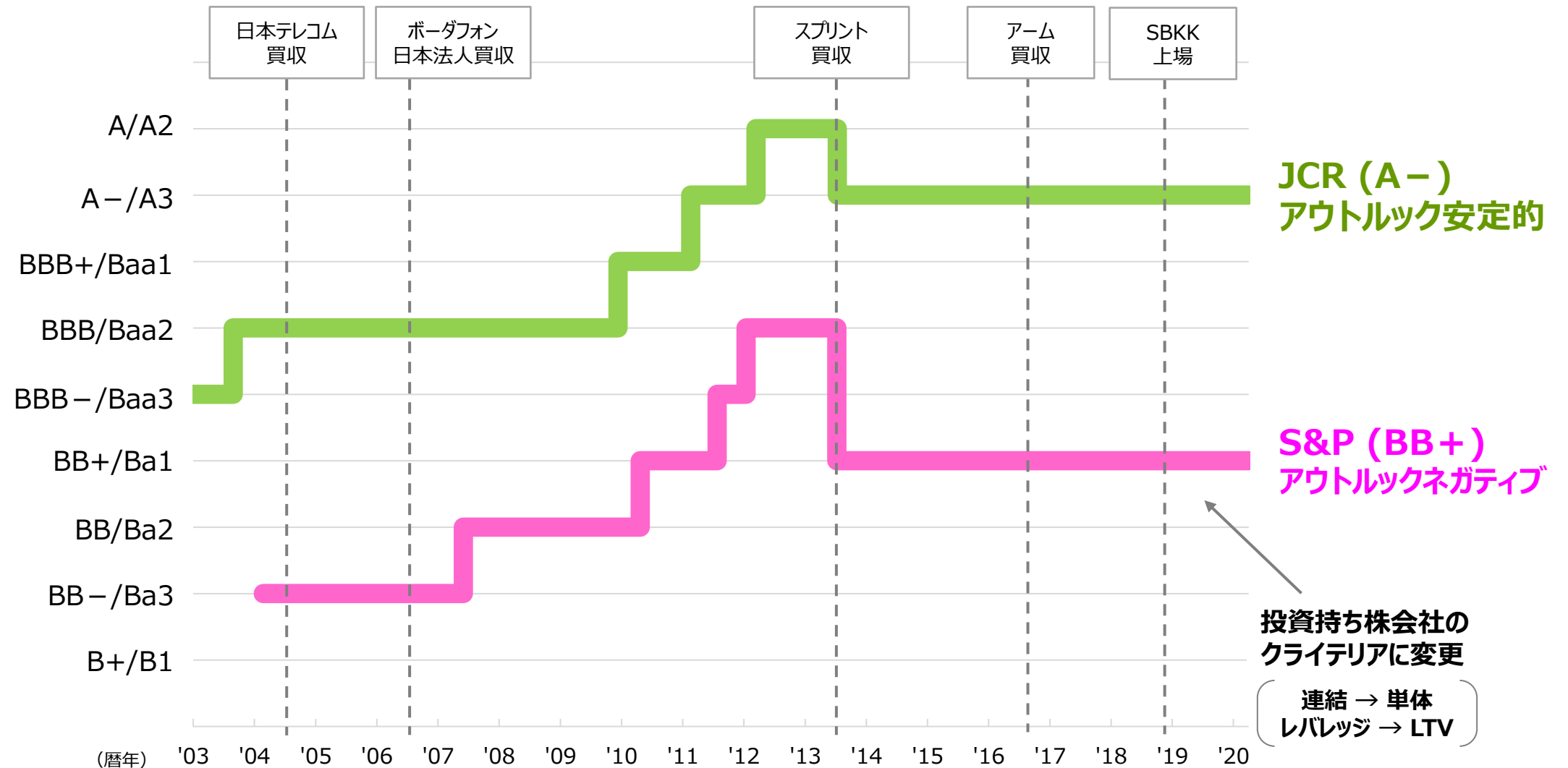
※1 累計リターン=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。ヘッジ影響を考慮。諸費用等考慮前。

※2 累計投資額：SVF1開始から2020年3月31日までの累計投資額。売却済の投資（NVIDIA、Flipkart等）を含む。NVIDIAは2019年1月、Flipkartは2018年8月にそれぞれ精算済み。ヘッジ影響を考慮。

※3 SBGへ分配済の金額：SVF1開始時から2020年3月31日までに分配済の金額。

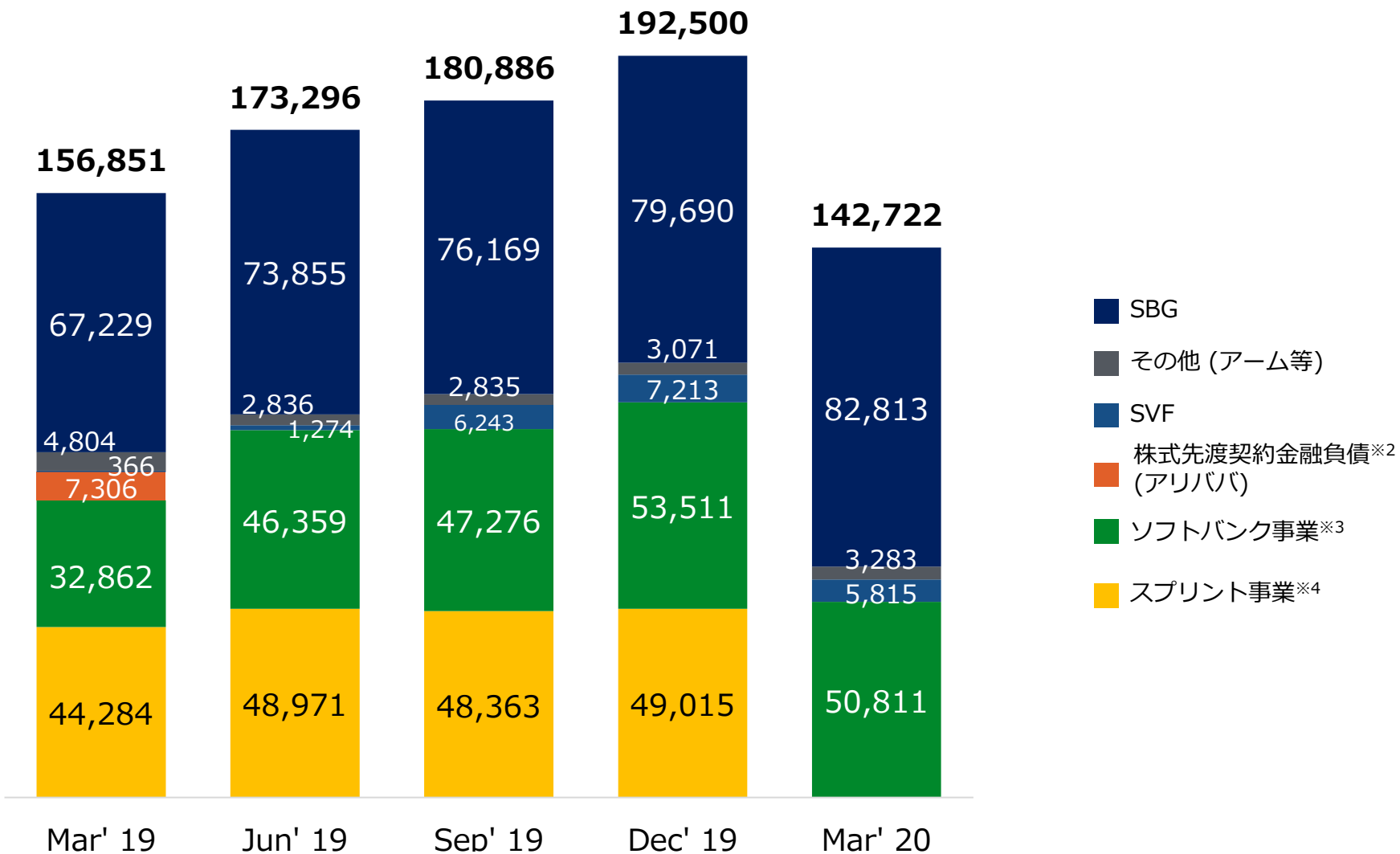
※4 SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF1開始時から2020年3月31日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計。投資期間終了以降に全額の支払いが行われた、過去に売却した投資案件に係る成功報酬は、クローバック条項の対象。SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む

投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



連結有利子負債

(億円)

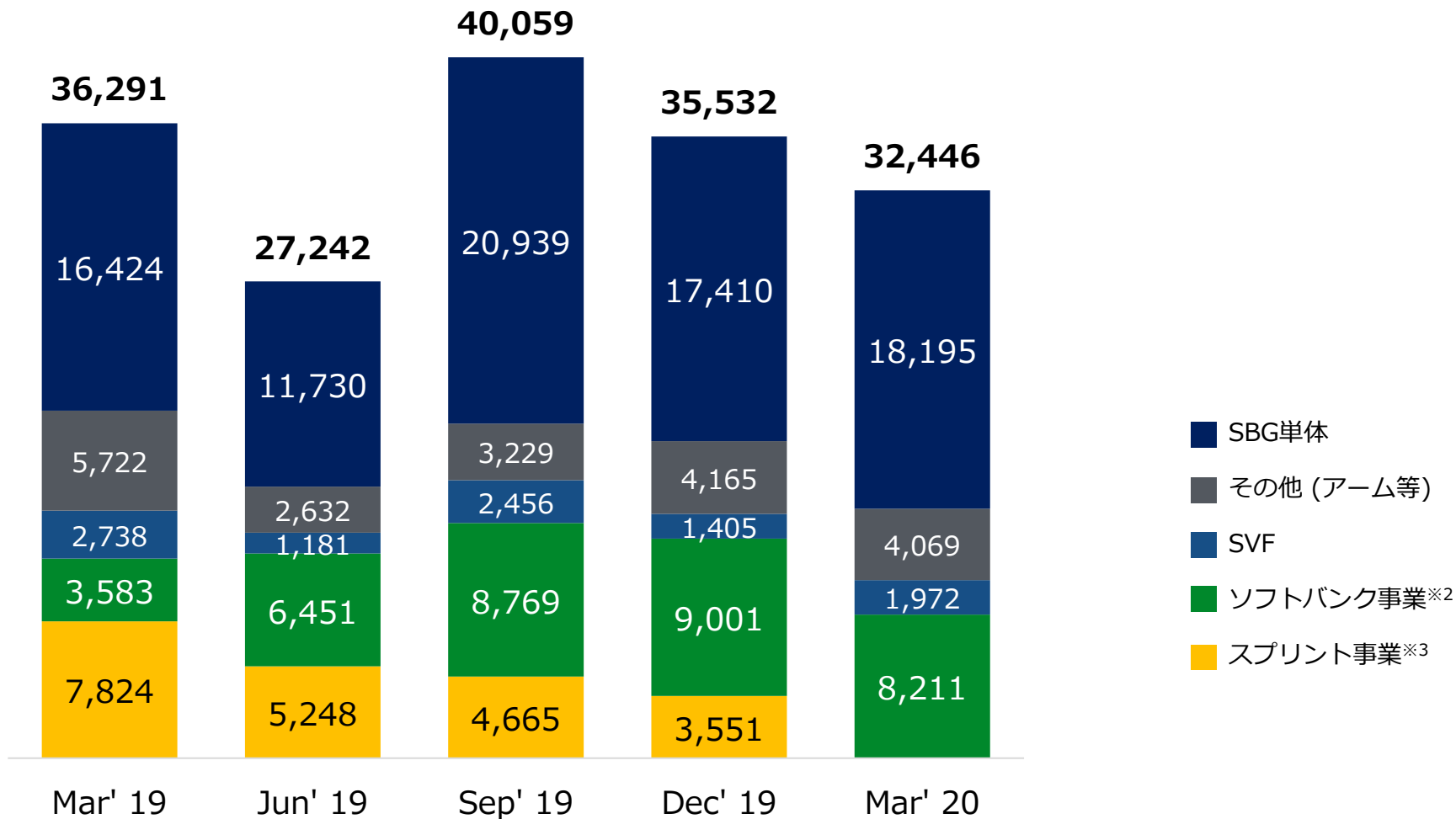


有利子負債+リース負債

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。ジャパンネット銀行の銀行業の預金は含まない
 ※2 2019年12月期から計上しているAlibaba株カラー取引に関する株式先渡契約金融負債は含まない (SBGの有利子負債に算入)
 ※3 2019年6月期から「ソフトバンク事業」は旧「ヤフー事業」を含む
 ※4 スプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、スプリント事業の有利子負債は連結有利子負債に含まれない
 ※5 2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上

連結手元流動性

(億円)

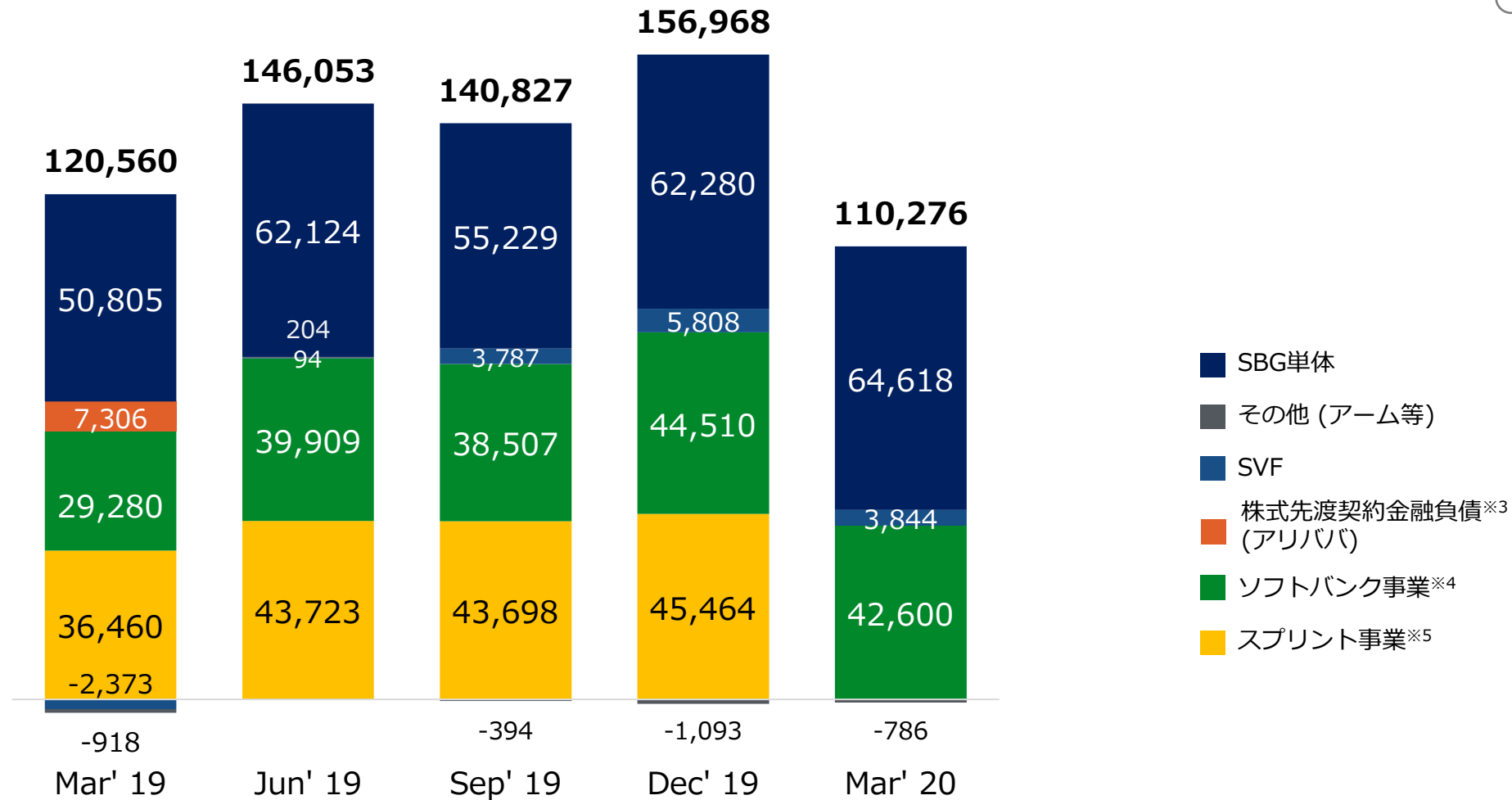


※1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。ジャパンネット銀行の手元流動性は含まない
 ※2 2019年6月期から「ソフトバンク事業」は旧「ヤフー事業」を含む
 ※3 スプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、スプリント事業の手元流動性は連結手元流動性に含まれない

連結純有利子負債

(億円)

有利子負債+リース負債
- 手元流動性



※1 ジャパンネット銀行の(銀行業の預金-手元流動性)は含まない
 ※2 マイナス表記はネットキャッシュ
 ※3 2019年12月期から計上しているAlibaba株カラー取引に関する株式先渡契約金融負債は含まない (SBGの有利子負債に算入)
 ※4 2019年6月期から「ソフトバンク事業」は旧「ヤフー事業」を含む
 ※5 スプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、スプリント事業の純有利子負債は連結純有利子負債に含まれない
 ※6 2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上